

第三次丸亀市総合計画のポイント(概要)

■ この計画について(P4)

第三次丸亀市総合計画は、これからの8年間(令和8~15年度)で丸亀市がどのような姿を目指すのか、そのためにどのような取組を進めていくのかを示す、市の最上位計画です。

今回は、従来の「行政の計画」から、市民とともに未来をつくる「みんなの計画」へ転換したことが大きな特徴となっています。市民アンケート、SNS分析、シンポジウムなど、多様な手法で市民の声を集め、計画へ反映しました。

■ 丸亀市が目指す将来像(P7)

「丸亀は、ひとをイキイキさせるまち」

市長の松永がこれまで一貫して申し上げてきた「まちづくりは人づくり」、「元気なまちをつくる」という考え方を、目指す将来像として言語化したものです。

■ 5つの基本方針(P8)

将来像を実現するために、以下の5つ基本方針でまちづくりを進めます。

- 基本方針 1 心豊かな子どもが育つまち
- 基本方針 2 活力みなぎるまち
- 基本方針 3 安心して暮らせるまち
- 基本方針 4 健やかな笑顔ひろがるまち
- 基本方針 5 ともにつくるまち

加えて、「誇り愛されるまち」を5つの基本方針が目指す目標として位置づけています。

■ 今の丸亀が抱える主な課題(P29)

アンケート、SNS分析、人口ビジョンなどを踏まえ、以下の課題を整理しました。

-  子育て・教育を取り巻く環境の変化
-  人材流出と地域活力の低下
-  安全安心な暮らしの揺らぎ
-  高齢化の進行と福祉・医療ニーズの多様化
-  地域のつながりの希薄化と魅力発信の不足

これらに対応する形で、5つの基本方針を打ち出しました。

■ 基本方針と基本施策(P32～77)

5つの基本方針に16の基本施策と、62の主要な取組を紐づけ、将来像の実現に向け取り組んでいきます。また、総合計画やそれぞれの取組が市民の皆さまにどのように関係しているのか、「**総合計画の市民とのつながり**(P34～41)」をまとめました。一人ひとりが自分ごととして捉えることができるよう見える化しています。

■ 未来を支える仕組み(P79)

計画を支えるため、行政改革を「行政運営」、「財政運営」、「広域連携」の3つの分野に分けて取り組みます。

✚ 行政運営の改革

「社会変化に適応する行政マネジメントの確立」

→組織・業務・評価・職員の視点が必要な変革を行っていきます。

✚ 持続可能な財政運営

「持続可能な財政基盤の再構築」

→歳入の確保・歳出の最適化により、バランスの取れた予算の編成と執行を継続します。

✚ 広域連携の推進

「多様な連携により地域の未来をつなぐ」

→持続可能な地域づくりのため、さらなる連携の推進に取り組んでいきます。

■ みんなで動かすまちづくり(P88)

毎年、実施した取組を、「**検証→カイゼン→計画→実行**」のサイクルを回すことで、「ひとのイキイキ度」を向上させ、「ひとをイキイキさせるまち」を着実に実現していきます。

丸亀に生きるすべての人たちが、よりいっしょに考え、動き、実現していける総合計画であるために、みんなの気持ちをひとつにする合言葉「**まるっ都！まるがめ**」をつくりました。みんなでこの合言葉を育て、まるっとよりよい丸亀の未来につながっていきます。」